

**輸血療法に関する調査**

*Hiroshima 2016*

< 「輸血用血液製剤供給量」別集計 (N=108) ver.1 >

**2017年2月18日時点**



## < 輸血療法に関する調査 Hiroshima 2016 調査概要 >

### ○ 調査目的

広島県の医療機関における輸血療法の現状と実態を把握するため、平成 23 年度に設置された広島県合同輸血療法委員会が実施主体となり、厚生労働省 血液製剤使用適正化方策調査研究事業の一環として、「輸血療法に関する実態調査」を行った。

### ○ 調査対象

- ・ 広島県血液センターにおける、平成 24 年度輸血用血液製剤供給実績上位 100 位以内の医療機関  
--- 100 施設
- ・ 以前の調査(平成 23 年度、もしくは平成 24 年度)の調査対象であった医療機関  
--- 5 施設
- ・ 過去研修会に参加申込があり、昨年度調査前の時点で、過去 3 年以内に輸血用血液製剤の供給を受けている医療機関  
--- 32 施設  
⇒ 計 137 施設

### ○ 調査期間

2016 年 9 月 1 日 (調査票発送) ~ 2016 年 10 月 7 日 (締切日)

### ○ 調査方法

郵送により配布・回収  
記名自記式調査 (集計結果は匿名化)

### ○ 調査・解析について

広島大学疫学研究倫理審査委員会 承認 (許可番号 第 E-204-1 号)

○ 回答状況

調査対象施設		発送数	回収数	回収率 (%)
全体		137	102	74.5
A	H24 輸血用血液製剤供給量上位 100 施設	100	81	81.0
B-1	H24 以前の調査の調査対象	5	3	60.0
B-2	以前研修会に参加申込しており、昨年度調査前の時点で、過去 3 年以内に輸血用血液製剤供給実績あり	32	18	56.3
B 小計		37	21	56.8

○ 集計方法

100 施設の回答について、以下の 2 群で集計を行った。

対象 A：平成 24 年度輸血用血液製剤供給量上位 100 施設 (N=81)

対象 B：その他施設 (N=21)

● 集計表の見方

次項からの集計表には、ページ左半分に対象 A の集計結果が、ページ右半分に対象 B の集計結果が掲載されている。一部グラフに関しては、比較しやすいように対象 A と対象 B をまとめて掲載したものもある。

